

ウクライナ：いかに主流メディアが報道を捻じ曲げるか

【訳者注】微妙な言い回しによって、巧みに世論を誘導しようとする、たちの悪いロイター通信ニュースの一例を分析している。これはレトリックのわざとしては見事かもしれないが、あまりにも明らかな証拠によって、巧みに信じさせようとするウソがすべて退けられる。中でも驚くのは、ここで聞くことのできる、(今では有名となった“Fuck the EU”発言を含む) ビクトリア・ヌーランドと駐ウクライナ米大使との間の、盗聴された陰謀の電話である。ここまで明らかになると気の毒と言うしかないが、そんなことに動ずるような、ワシントンでも、主流メディアでもない。

この記事を、特に外務省に読んでいただきたい。ウクライナ問題でアメリカに調子を合わせるのは、日米安保がある以上、ある程度やむをえないかもしれないが、同時に、真実の上に立って話そうという態度を示さないと、国際的には共犯者とみなされるであろう。

なお、ここには言われていないが、マイダンの反政府デモの参加者に、西側から日当が払われていたという証言がある(2014/8/19「英メディアがロシアについて間違いを認め始める」)

By Eric Zuesse

Global Research, April 18, 2015

人々は自分の国をも外国をも、彼らの利用できる新聞というフィルターを通じて見る。だから、もしそのフィルターが組織的な歪曲を行って、他のほとんどの新聞も同じことをやっていたとしたら、その場合、民主主義は機能せず、世論は操作され曲げられ、そんなはずのなかった戦争さえ起こるかもしれない。アメリカがこれを、ここ数十年来、(多くの例の最も有名なものをあげれば) 2003年のイラク侵略などにおいて、やり続け、悲劇的な結果をもたらしている。



典型的なロイター通信の“ニュース”報道をここで調べて、ロイターの“ニュース”組織のジャーナリズム基準が、どれほどの高さであるかを見ることにしよう。ロイター通信は、国際的に尊敬され、アメリカとヨーロッパのあらゆる大手ニュース組織の上に立つ、したがって、例として引くには申し分のないものである。

4月16日木曜日の、この特定の報道には、「ロシアが、ウクライナの安全保障危機と混乱について米を非難」という見出しがついている。

<http://in.reuters.com/article/2015/04/16/ukraine-crisis-russiaidINKBN0N71P720150416>

その最初のセンテンスは、事実の単純でありのままの記述である——

ロシア高官筋は、木曜日、アメリカが政治的・軍事的支配を強めていることを非難し、東部ウクライナの紛争を含めて、国際的に安全保障の危機を招いたのは、西側の責任であると主張した。

2番目のセンテンスは決して事実ではない。それは、ロシアの発言者と彼らの言ったことに対する軽蔑であるが、彼らの言ったことが嘘だという証拠も提供せず、この報道自体への軽蔑的な態度の証拠となるようなものも示していない——

冷戦時のようなレトリックを持ち出して、ロシアの国防長官セルゲイ・ショイグは、アメリカとその同盟国による、キエフを西側に引き込もうとする動きは、モスクワにとって脅威であり、反応せざるを得なかったのだと言った。

この文章は暗黙のうちに、ロシアにそんなことをする理由がないはずなのに、「冷戦時のようなレトリックを持ち出した」ことを非難している。ここに含まれたもう一つの意味は、アメリカでなくロシアが、米露間の冷戦の復活の原因になったということである。それはまた、暗黙のうちに、「アメリカとその同盟国による、キエフを西側に引き込もうとする動き」が、過去にも現在もなかったかのように、また、アメリカがウクライナを、隣国のロシアに敵意をもつ従属国として占領したことに「反応せざるを得なく」する「モスクワへの脅威」など、実はなかったかのように言っている。

この2番目の文章が、残念ながら、一つながりのウソであることは、記録によって証明されている——

ここに、米務省の Victoria Nuland が、2014年2月4日、駐ウクライナ米大使 Geoffrey

Pyatt に対し、そのとき在職していた民主的に選ばれたウクライナ大統領 Viktor Yanukovich が倒された後、誰をウクライナ首相に指名すべきかを指令している証拠がある。

<https://www.youtube.com/watch?v=MSxaa-67yGM>

これは 18 日後、2014 年 2 月 22 日に起こった。<https://www.youtube.com/watch?v=8-RyOaFwcEw>

言い換えると、政権転覆の 18 日前にヌーランドは、ヤヌコヴィッチの代わりを實際上、選んでいたのである。

加えて言えば、“民間 CIA” 会社ストラットフォアの創始者は、このヤヌコヴィッチの追放を「歴史上最も厚かましい (blatant) クーデタ」だと評している。<http://rinf.com/alt-news/editorials/head-stratfor-private-cia-says-overthrow-yanukovich-blatant-coup-history/> すべての有識者で正直な人々が、この転覆は、現行の親アメリカで、ひどく反ロシアの従僕政府をウクライナに作るための、アメリカによるクーデタであることを認めている。ウクライナが、ロシアと境を接していること、また、米/NATO が核ミサイルを、数分離れたモスクワに向けて設置するのに便利な、ロシアにとってきわめて危険な場所であることを、誰も否定する者はいない。また、ソ連の独裁者ニキタ・フルシチョフが、1962 年に、キューバにミサイルを設置することによって、同じようなことを反対方向に（つまりアメリカへ向けて）試みたとき、それは米大統領 J・F・ケネディにとって、確実にアメリカに対する存亡の脅威であり、ソ連の指導者が方向転換しないかぎり、核戦争の原因になり得るものだった。したがって、このロイター通信の文章は、ロシアを敵とする本質的に悪意あるウソ、歴史の歪曲であり、実はアメリカがロシアに対して敵対行動を取っている事実——隣国政府の転覆とそれに続く武装援助、そしてロシアに対する制裁——を隠ぺいするものである。これに対してロシアは防御姿勢を取っているが、それはそうしなければならないからだ。

さらに言えば、オバマの立てたウクライナへの仕掛け人、ビクトリア・ヌーランドが、ウクライナをアメリカの軌道に乗せるためのこのクーデタに、「我々は 50 億ドルを投資した」（このビデオで 7:43）ことを認めている。これを否定する者はいない。

<https://www.youtube.com/watch?v=2y0y-JUsPTU#t=447>

もっと言えば、ヤヌコヴィッチ追放の直後に、EU は調査担当者をキエフに送って、ヤヌコヴィッチの失脚の原因となった暴力を仕掛けたのは、ヤヌコヴィッチの政府だったのかどうかを調べたとき、衝撃的だったことに、それを実行した者は「（すでにヤヌコヴィッチの代わりを立てていた）新しい野合集団のある者」だったことが判明した——すなわちワシントンだった。確かに、EU 自体でもなかったが、（我々が非難していた）ヤヌコヴィッチ政府でもなかった。<http://fortruss.blogspot.com/2015/02/the-paet-ashton-transcript.html>

その上、反ヤヌコヴィッチのマイダンのデモが、まだ始まってもない（ウィキペディアによると）その前日に、このデモを組織するための工作が、米大使館内部ですで行われていた事実を、ウクライナ議会のある議員が、すでに詳細に記述していた。

<http://www.washingtonsblog.com/2015/02/new-video-evidence-americas-coup-ukraine-means.html> これらのデモは実は、2013年春、それが始まったとされるより前に——急に高まったと言われるこの出来事よりはるか前に——その手筈が整えられていた。

ロイター記事のこのあとの記述は、例えば、ロシアが「NATO が取った防備を固め、軍事力を増強する措置は、防御からは程遠いことは確かだ」と言ったことを、ロシア政府の挑発的主張だとして引用している。NATO を敵視するこのようなロシアの発言といわれるものに、矛盾する証拠については、何ひとつ言及されていない。

そして最後に、この記事は、NATO が言った「ウクライナにおけるロシアの侵略行動」という曖昧な言明を借りて主張している。「侵略」の証拠は、この“ニュース”報道では示されていない。

したがってこの記事は、「ウクライナにおけるロシアの侵略行動」という全く根拠のない主張で終わっているが、それは、無批判的な読者に、ロシアこそ根拠のない反米プロパガンダを行っている側だと思込ませるための、一連の当てこすりや嘘のプロパガンダの締めくくりに主張されている。

しかし明らかに、もしロシアがここで広めているのがプロパガンダだとしたら、それは事実を根拠とする、きわめて確かなプロパガンダである——そこには出来事そのもののビデオがあり、反論できない、反論の余地なく高質な記録された証拠がある。これを“真実の”プロパガンダと言ってもよいだろう——そんな言い方が許されるとすれば。

「ロイターがどれくらい信頼できるか？」そして、「ロイターの“ニュース”組織がジャーナリズム基準からいって、どれほどのものか？」を決めるのは、ひとえに読者にかかっている。私の目的はただ、このような質問に理性的に答えることができる根拠となるような、証拠を提供することだった。私はその根拠をここに提供したが、ロイターの“ニュース”報道はこれらを全く無視している。

(調査歴史家 Eric Zuesse の最近著としては次のものがある——*They're Not Even Close: The Democratic vs. Republican Economic Records, 1910-2010 ; CHRIST'S VENTIRILOQUISTS: The Event that Created Christianity; Feudalism, Fascism, Libertarianism and Economics*)

